

広報

おやすみ

2021

5

No.196



3年ぶりの臥龍の渡し

NEXT きらめき[★]

石山 ^はこの葉 さん (八幡浜高等学校陸上部2年)

(大会時1年：新谷中学校出身)

第32回女子全国高等学校駅伝競走大会出場
愛媛県高校駅伝・女子(2020)八幡浜高等学校 優勝



チームメイトと練習する石山さん



石山さんは中学生の時、愛媛県陸上大会に出場した徳山和さん(なごみ)(大洲北中学校出身)の走る姿に憧れ、同じ八幡浜高等学校への入学を機に陸上部に入部しました。「走っている時はしんどいけれど、走り終えた時の達成感、自己ベストを更新できたときの喜びがあるので、走り続けることができます」と話す石山さん。「全国大会では、3年生がいない状況でベストな走りができたと思います」と語っていました。

5月の納税など 納期限は5月31日(月)です。

税別	5月	6月	7月	8月
市県民税		1期		2期
固定資産税			2期	
軽自動車税	1期			
国民健康保険税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」をご利用ください。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(去年同期)
人口	41,683人 (-209)	件数 13件(11件)
男	19,987人 (-85)	死者 1人(0人)
女	21,696人 (-124)	負傷者 14人(14人)
世帯数	19,785世帯(-11)	(2021年3月末現在)

【訂正とお詫び】

広報おおず4月号5、6ページに掲載した「大洲市テイクアウト情報」の記事について、誤りがありました。お詫びのうえ、以下のとおり訂正します。

- ①「LOCAL (ローカレ)」の正しい店舗名は「LOCALE (ロカール)」です。
- ②「ビストロサンマルシェ」は「デリバリー」を実施していません。

CONTENTS 目次

2ページ	NEXTきらめき・今月の表紙
3ページ	新型コロナウイルス感染症に関する情報
4ページ～	(特集) 地域課題の解決に向けて「長浜ゴミ0プロジェクト」
6ページ～	おおずニュース
10ページ	シリーズ
11ページ～	おしらせピックアップ
23ページ	情報ひろば
24ページ～	集まれ0級若モン・図書館
26ページ～	保健センター・各種相談ガイド
28ページ	がんばるひと (かじかコーラス)

今月の表紙



平成30年7月豪雨と新型コロナウイルス感染症の影響により休止となっていた観光渡し船「臥龍の渡し」が、4月と5月の日曜・祝日に運航されます。

臥龍山荘や新緑の肱川河畔の風景をお楽しみください。

【問い合わせ先】
大洲市観光協会 ☎24-2664

感染対策の警戒レベルを 最大限に高めてください。

体調不良時は外出を避けて、マスクを正しく着用して
手指消毒の徹底をしましょう。

愛媛県内では、年明けに顕著となった感染拡大の山を越え、3月1日以降の感染状況は落ち着いていましたが、3月後半に入り感染経路不明の新規事例が増加、下旬には松山市繁華街において過去最大のクラスター（繁華街クラスター）が発生するなど、愛媛県内でも陽性確認者が急増しています。

まさに「第4波」に入った状況であり、さらに「変異株」という新たな波が押し寄せています。医療機関への負荷も増大し、これ以上の感染拡大を食い止めなければなりません。

市民のみなさん、事業者のみなさんと危機感を共有して、一丸となってこの難局を乗り越えていくために、警戒レベルを最大限に高めて、一層の感染回避行動の徹底をお願いします。

■会食に関する注意事項■

【必ず守るべき3つの条件】

①店側の感染対策ができていることを確認

《飲食店を選ぶ際のポイント》

座席の間隔の確保、従業員のマスク着用
消毒液の設置、換気の徹底など

②参加者の2週間以内の行動歴を確認

「深夜に及ぶ繁華街での飲食をはじめ、5つの場面に該当する感染リスクの高い行動」がないこと

③当日の体調不良者がいないことを確認

日常の会食は、基本的に家族や4人以下で

- ☞ 毎日顔を合わせ、感染リスクの高い行動のない人と
- ☞ 席の間隔を十分に開けて
- ☞ 大声を出さない、羽目を外さない
- ☞ 長時間の飲食は避ける（2時間以内）

※ポイントをおさえて会食しましょう

※テイクアウトやデリバリーも利用しましょう

■感染リスクが高まる5つの場面■

場面① 飲酒を伴う懇親会など

飲酒が伴うと注意力が低下し、大きな声になりやすく、狭い空間、回し飲みや箸の共用は感染リスクを高めます。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

長時間や接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は、短時間の飲食に比べ感染リスクを高めます。

大人数、例えば5人以上では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため感染リスクが高まります。

場面③ マスクなしでの会話

マスクなしに近距離で会話することで飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まり、昼カラオケなどでの感染事例が確認されています。車やバスで移動の際の車中でも注意が必要です。

場面④ 狭い空間での共同生活

長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため感染リスクが高まり、寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されています。

場面⑤ 居場所の切り替わり

仕事での休憩時間など居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まり、休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。

現在、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株やワクチンが効きにくい可能性のある変異株が世界各地で報告されています。

変異株であっても基本的な感染予防策は、「3密の回避」「マスクの着用」「手洗い」などがこれまでと同様に有効です。改めて感染予防対策へのご協力をお願いします。



長浜港湾緑地に設置されたのぼり旗



ホワイトボードに書かれた応援メッセージなど

活動を継続するうちに、のぼり旗がないときもあるときも全体を通してゴミの量が減ると予想しました。また、第3土曜日に行われる長高水族館の一般公開日にも旗を展示することにしました。調査期間には、毎週月曜日に公園内のゴミを回収し、長浜婦人会が回収したゴミと合わせて、燃やすゴミ、プラスチック、アルミ缶、スチール缶、ビンに分類してその質量を計測することにしました。



のぼり旗は、1週間ごとに旗の設置、撤去を行うことにしました。そしてこの

併せて、ホワイトボードの設置も行いました。私たちの取組に対して来場者がコメントを残せるようにし、どこから訪れたのかを記録できるようにしました。応援メッセージは励みになり活動の糧になりました。中には京都市や茨城県から来られた人もいて、県外の人にもこの活動を知ってもらえてよかったです。



検証結果は下記のグラフのようになりました。グラフを見るとわかるように始めた頃に比べると大きくゴミの量が減少しています。一番多いときに5505gあったゴミが、一番少ない時に1420gになり、4085gの減少に成功しました。



この活動を通して、自分で課題を見つけ、仲間と協力してその課題を解決していく術を学びました。長浜のゴミが少しずつ減っていく、この長浜の地を拠点に、四国、日本、世界へとゴミを減らそうとする活動が広がることを願っています。

(長浜高等学校 丸口 俊輔)